

## 情報公開文書

研究の名称	マイクロパルス経強膜的レーザー施行後中期の前房内フレア上昇と眼圧下降率との関係
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 眼科学 林 篤志
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 上越石田眼科で2019年3月から2022年5月までの間に初回のマイクロパルスレーザーを施行し、施行前後のフレア値が測定できた25症例25眼を対象とする。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> マイクロパルス経強膜的レーザー治療 (micropulse transscleral cyclophotocoagulation: 以下MP-TSCPC) は、ダイオードレーザーの<math>\mu</math>秒単位の短時間照射を、休止時間を挟んで周期的に繰り返すことで、経強膜的毛様体光凝固を行い、眼圧を下降させます。マイクロパルス経強膜的レーザー治療の眼圧下降機序は、不明な点が多いです。通常のレーザーによる侵襲は炎症を引き起こし、眼圧上昇につながるとされていますが、MPCPC施行後炎症の指標であるフレア値の上昇と眼圧下降が相関するとしていう報告もあります。われわれはMP-TSCPCを受けた患者のレーザー施行後の中期のフレア値と眼圧下降に関係があるかどうかを調べ、MP-TSCPCの眼圧下降機序に対して更なる考察を追加するために後ろ向きの研究を行います。</p> <p>MP-TSCPCは長期的には眼圧下降不良で追加加療が必要になる症例も多いため、MP-TSCPCの眼圧下降機序を考察することで今後どのような症例がMP-TSCPCによる眼圧下降がより優れるかについて考察することが可能となります。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 診療録による後ろ向きの調査を行い、MP-TSCPC施行前後の前房内フレア値、眼圧、点眼スコア、合併症の有無、緑内障病型を調査いたします。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2026年3月31日</p> <p><b>【利益相反の状況】</b> 本研究に関連する企業は存在しないため、申告すべき利益相反はありません。</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 論文掲載を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	情報の項目：前房内フレア値、眼圧、点眼スコア、合併症の有無、緑内障病型 他機関への情報の提供：無

研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	学術研究部医学系眼科学 教授 林 篤志
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 眼科医局 076-434-7363 FAX 076-434-5037 E-mail <a href="mailto:otsuka@med.u-toyama.ac.jp">otsuka@med.u-toyama.ac.jp</a> 担当者所属・氏名 学術研究部医学系眼科学 大塚光哉 研究対象者等からの相談窓口 電話対応